

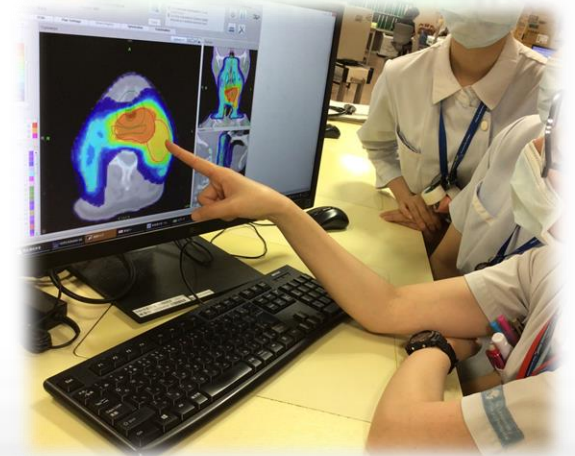
# 部署名：A10北

## ♥いいね わたしたちの仕事♥

A10北病棟では、耳鼻咽喉科の患者に対して、手術以外にも化学療法や放射線療法など幅広い治療を行っています。耳鼻咽喉科の患者は、治療をする上で、話すこと、食べること、においを感じることなど、生活をする中で私たちにとって当たり前のように感じる機能を失うことがあります。患者の症状や気持ちに寄り添いながら、個別性に合わせた看護を実践しています。

入院時より退院後を見据えた介入をしており、患者が今後の生活で大切にしたいこと、退院後心配となることなどを共有することで、患者と医療職が同じ目標に向かって治療をすすめられるようにしています。

カンファレンスでは実際の画像を確認しながら、看護介入方法を検討しています。



# 部署名：A10北

## ♥心に残るエピソード♥

その患者さんは元々癌の摘出手術を受ける予定でした。しかし、入院時すでに肺転移してしまっていたため手術を中止し、抗がん剤と放射線治療を受けることになりました。ところが、誤嚥性肺炎を発症してしまい、予後数週と言われるまで状態悪化してしまい、延命処置を含めた今後の方針を話し合うことになりました。現状を受け入れられない御家族とどのように伝えるべきか悩む医療者を前に、患者さんが毅然とした態度で「精一杯生きて。思い残したことはない。」と話された姿は、今でも忘れられません。

抗がん剤が著効したこと、御家族の手厚いサポートもあり、最終的にその患者さんは無事自宅退院することができました。患者さんにとって何が最善か模索する日々ですが、このエピソードを機に患者さんの思いを尊重し、後悔のない選択ができるようにしていきたいと、強く感じるようになりました。

